

平成21年度 病院BSC年間評価シート

病院名: 小児保健医療センター

	BSCの当初目標設定内容				年度末 進捗状況				評価・今後の対応	
	戦略的目標	業績評価指標	数値目標	主なアクションプラン	アクションプラン 取組の有無	アクションプラン実績	数値目標実績	4段階評価		
顧客の視点	患者満足度の向上	満足な人の割合	外来70% 入院88%	1. 患者満足度調査の実施・検討、改善 2. 待ち時間調査の実施・分析、改善 3. 患者さんからの意見・要望内容の検討、改善 4. 患者さんの苦痛緩和や在宅支援の推進	1 2 3 4	×	1. 患者アンケートを5日間実施 2. 未実施 3. 患者さんからの意見については、毎月幹事会で検討し、実行に移した。 4. 看護外来専任看護師、退院支援専任師長設置、退院支援計画モデル作成済	外来68% 入院79%	B	1. サービス向上委員会で、アンケート結果の分析と対応の検討をしていく。 2. 待ち時間調査の実施と対策検討 3. 患者さんからの意見対応は今後も継続して実施していく。 4. 退院支援・在宅支援システムの構築と運用をしていく。
		新規医療サービスの件数	H20～H23 2件	5. 新規医療サービスの募集 5. 新規医療サービス開発者への表彰	5 5		5. 頭痛外来、発達障害新患外来、ケトン食入院、他院での専門外来実施 5. 開発者(実行者)の表彰	4件	A	5. 新規医療サービスの継続実施、募集と表彰
	病院のブランド力の向上	外来新患者数 + 新入院数	5,250人	6. 広報の充実 7. 地域連携強化 8. 学会活動活発化、専門資格取得支援 9. 外部向け研修会の企画・開催の推進	6 7 8 9		6. 年報の発行、広報紙の発行 7. 紹介・逆紹介患者データの分析と蓄積 8. 学会活動の推進 9. 予定どおり実施	4,894人 2,488人 13回(日)	B B A	6. 広報活動の強化 7. 分析結果の活用 8. 国内外学会発表の推進、専門資格取得・論文投稿への支援 9. 時代のニーズに合わせた外部向け研修会の企画・開催の推進
		外部向け研修会開催数	12回							
	政策医療の推進	広汎性発達障害、 自閉症患者数	850人	10. 広汎性発達障害の診断と指導體制の強化 11. 精神医療センターとの連携	10 11		10. 発達障害新患枠の設定(週1回) 11. 広汎性発達障害勉強会(病院・診療所の医師、心理士、看護師等が対象)の実施	932人	A	10. 発達障害支援のスキル向上を図り、さらに充実させる。
財務の視点	財務の安定	経常収支比率	101.2%	12. 診療報酬請求漏れ、減額等の対策会議定期開催と対策の周知徹底	12		12. 計画未実行、事務処理ミス(委託業者)の減少指導	104.0% 88.9%	B B	12. 計画実行、事務処理ミス(委託業者)の減少指導
		医業収支比率	88.8%							
		給与費 / 医業収益	57.8%	13. 診療材料委員会の活性化、成人病センターとの共同購入検討	13		13. 診療材料委員会の開催、SPDシステムの予算化	64.2% 18.8%	B B	13. SPD実施と効果測定
		材料費 / 医業収益	21.1%							
		コストダウン提案数	2件	14. 診療科別原価管理システムの検討	14	×	14. 未実行	2件	B	14. 原価計算の目的と行動の明確化
	過年度未収金額	100万円以下	15. 未収金の回収、発生防止	15	×	15. 回収委託の実績なし、訪問督促実施せず	157万円	B	15. 法的対応の検討	
内部プロセス の視点	医療安全の徹底	アクシデント(事故)件数	4件	16. 医療安全委員会の活動強化	16		16. ヒヤリハット報告率の上昇	15件	B	16. 同種ヒヤリハットが複数回起こった事例の分析、改善提言等
		医療安全改善案の実施率	95%以上	17. 院内感染防止対策の徹底	17		17. 新型インフル対策のため達成不十分	95%	B	17. 前年度不十分だった項目を含め実施
	医師・コメディカル の事務軽減	医事での書類発行数	700件	18. 医事での診断書類受付窓口の設置 18. 指示書、診断書のデジタル化	18 18		18. 12月より稼働 18. 11月より作成ソフトの導入	747件	A	18. 導入効果の検証
	病床利用の向上	病床利用率	75.0%	5. 新規医療サービスの募集[再掲] 5. 新規医療サービス開発者への表彰[再掲]	5 5		5. 頭痛外来、発達障害新患外来、ケトン食入院、他院での専門外来実施[再掲] 5. 開発者(実行者)の表彰[再掲]	71.2%	B	5. 新規医療サービスの継続実施、募集と表彰[再掲]
		平均在院日数	16日	19. 平均在院日数、病床利用率のモニタリング(病床運営委員会)	19		19. 在院日数、病床利用率のモニター	16.0日	A	19. 必要時、運営委員会の開催
	活発な広報活動	ホームページアクセス数 (月間件数)	7,000件	6. 広報の充実[再掲] 20. 地域医療機関への広報活動	6 20	×	6. 年報の発行、広報紙の発行[再掲] 20. 地域医療機関を訪問して広報活動はできなかった。	4,029件	C	6. ホームページのアップデート促進、広報紙、年報の発行 20. 医師会・医療関係者への広報
	診療報酬の的確な請求	レセプト返戻件数	520件	12. 診療報酬請求漏れ、減額等の対策会議定期開催と対策の周知徹底 [再掲]	12		12. 計画未実行、事務処理ミス(委託業者)の減少指導 [再掲]	354件 291件	B B	12. 計画実行、事務処理ミス(委託業者)の減少指導 [再掲]
		レセプト減点件数	325件							
	職員満足度の向上	「今後もこの病院で働きたい」肯定者割合	60%	21. 職員満足度調査の継続的实施と病院運営への反映	21		21. 事業庁アンケートの回収率向上、肯定的な回答の増加	69%	B	21. アンケート意見に対する対応についても検討
	地域連携の推進	紹介率(精密健診含む)	49%	22. 地域連携室の充実・強化	22		22. 紹介・逆紹介患者データの分析と蓄積	43.6%	B	22. 分析結果の活用
逆紹介率		21%	22. 保健指導部や病棟の活動充実による地域との連携強化 22. 訪問看護ステーションとの連携強化	22 22		22. 地域での支援が必要な児について、関係機関との連携を図った。 22. 在宅支援のため、入・通院児のケースカンファレンスを行った。	19.9%	A	22. 引き続き関係機関との連携等を図る。	
地域療育支援	巡回療育相談事業実施回数	183回	22. 県内の療育教室への専門スタッフの派遣推進	22		22. ほぼ目標どおり実施することができた	181回	A	22. 療育部の通園児・外来児への対応と整合を図りながら実施する。	
学習と成長の 視点	職員教育の充実	専攻医・研修医の人数	6人	23. 専門資格取得に向けた教育体制の充実 24. 各科カリキュラム作成・改訂	23 24		23. 専門医取得1名、災害支援ナースの登録1名 24. カリキュラム作成には至らず。	5人	B	23. 専門資格取得支援の継続実施 24. 各科カリキュラムの整備
		職員向け研修会開催回数	10回	25. 研修委員会活動の強化	25		25. 概ね実施できた。	9回	B	25. 幹事会において研修計画を立案する。
	研究活動の活性化	学会発表数	55回							
		論文発表数 講演数	30本 16回	8. 学会活動活発化、専門資格取得支援[再掲]	8		8. 学会活動の推進 [再掲]	87	B	8. 国内外学会発表の推進、専門資格取得・論文投稿への支援 [再掲]